

令和2年度 可燃ごみ組成調査結果(11月10日～11月26日)

【調査結果の概要】

生ごみ:38.49 %、古紙類:12.17 %、オムツ:6.18%、プラスチック製容器包装: 7.76%

生ごみバケツ設置地区でも、生ごみの混入が同等に見受けられ、増加傾向にある。

古紙類の分別が悪く、資源物としての認識が薄いものと思われる。

プラ製品、古紙類(特に雑誌類・雑紙)の分別方法の周知が必要と思われる。

	R2年度の結果		R元年度の結果		H30年度の結果	
全体	671.30kg	100%	544.72kg	100%	486.7kg	100%
生ごみ	258.4kg	38.49%	202.5kg	37.18%	179.kg	36.78%
オムツ	41.5kg	6.18%	52.0kg	9.55%	40.8kg	8.38%
草木類	52.7kg	7.85%	8.8kg	1.62%	22.kg	4.52%
可燃ごみ	158.7kg	23.64%	139.4kg	25.59%	126.3kg	25.95%
不燃ごみ	1.1kg	0.16%	0.6kg	0.11%	0.4kg	0.08%
古紙類	81.7kg	12.17%	73.4kg	13.47%	56.1kg	11.53%
紙パック	3.6kg	0.54%	2.5kg	0.46%	2.8kg	0.58%
ペットボトル	1.8kg	0.27%	2.4kg	0.44%	1.6kg	0.33%
空きびん	0.7kg	0.10%	0.8kg	0.15%	0.1kg	0.02%
古繊維類	17.3kg	2.58%	9.9kg	1.82%	19.8kg	4.07%
空き缶	0.4kg	0.06%	0.3kg	0.06%	0.2kg	0.04%
金属類	0.5kg	0.07%	0.3kg	0.06%	0.0kg	0.00%
使用済小型家電	0.5kg	0.07%	1.5kg	0.28%	0.2kg	0.04%
プラスチック製容器包装	52.1kg	7.76%	50.3kg	9.23%	37.4kg	7.68%
乾電池・蛍光管	0.3kg	0.04%	0.0kg	0.00%	0.0kg	0.00%

